

Blood and steel!

血と鋼鉄

DEUS MACHINA
DEMONBANE

成人向



This is my rifle.
There many like it, but this one is mine.
My rifle is my best friend.
It is my life.

I must master it as I must master my life.
Without me, my rifle is useless.
Without my rifle, I am useless.
I must fire my rifle true.
I must shoot struggler than my enemy
who is trying kill me.
I must shoot him before he shoot me, I will.

Before god, I swear this creed :
my rifle and myself are defenders of my country.
We are the masters of my enemy,
We are the saviors of my life.

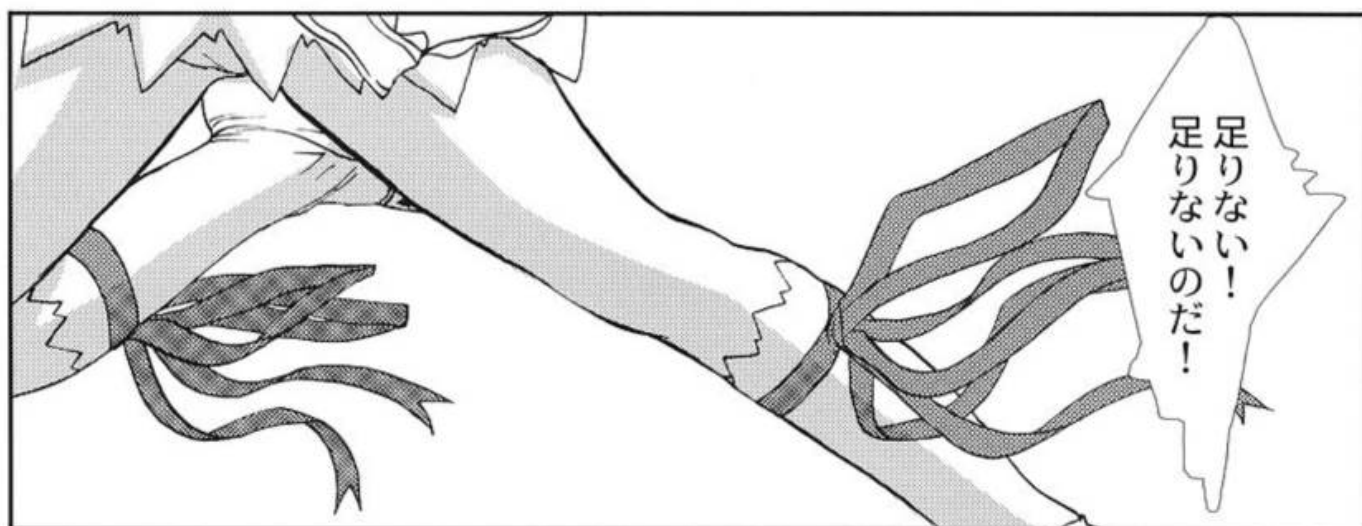
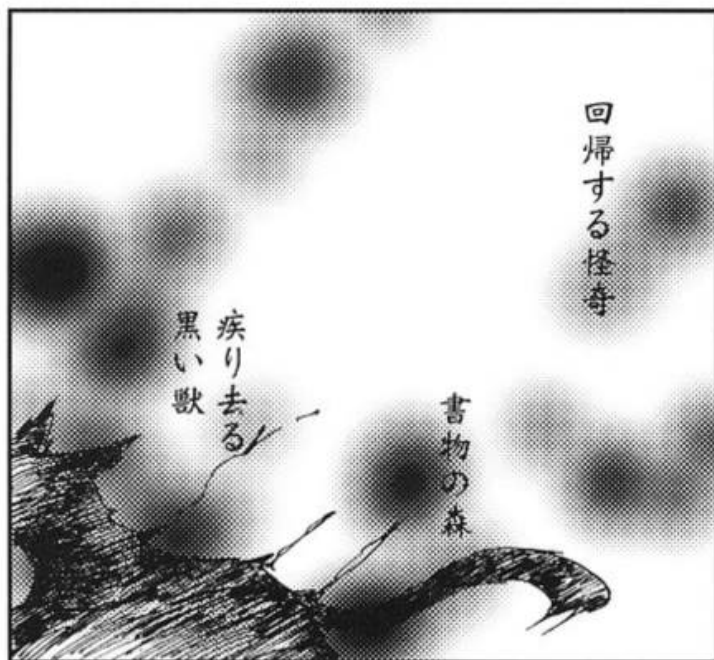
So be it, until there is no enemy, and peace.
Amen.

It quotes the speech by Stanley Kubrick's "Full Metal Jacket"







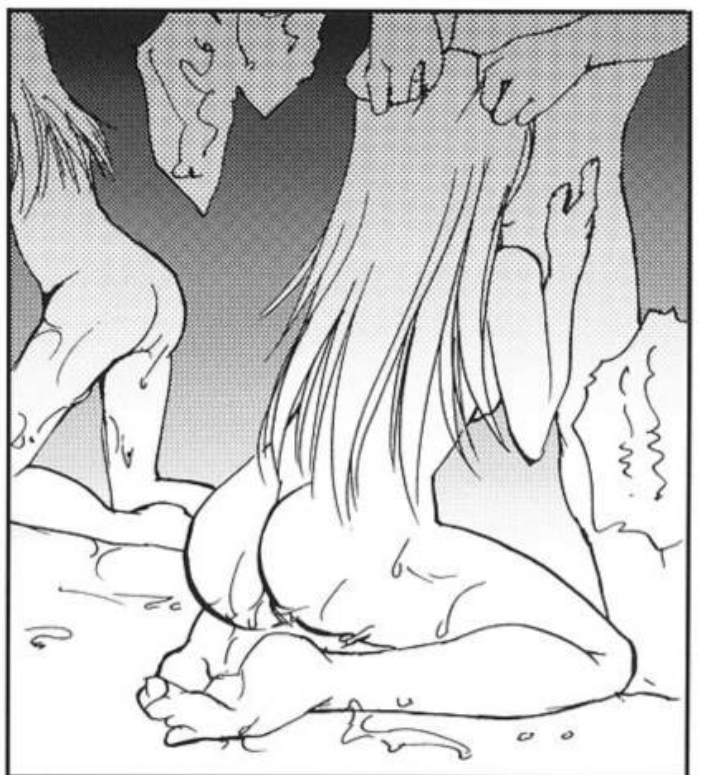
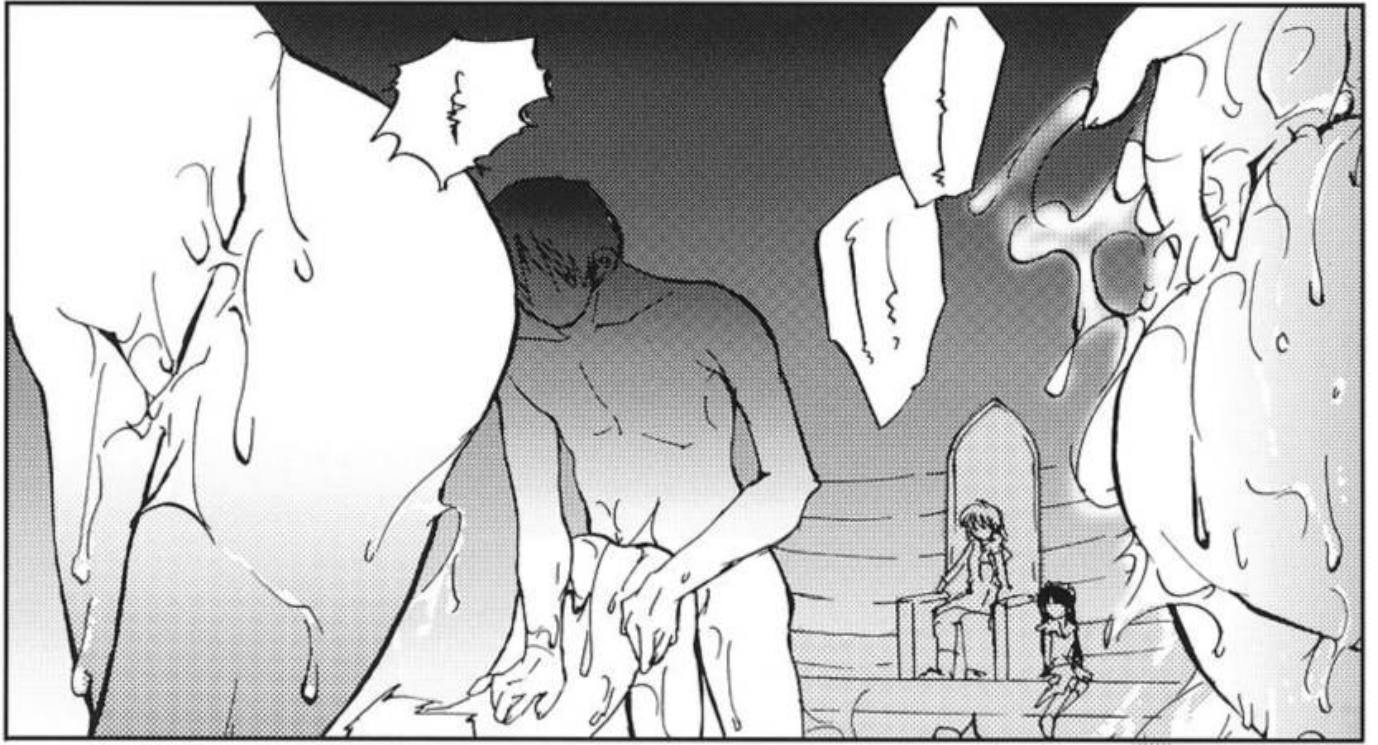


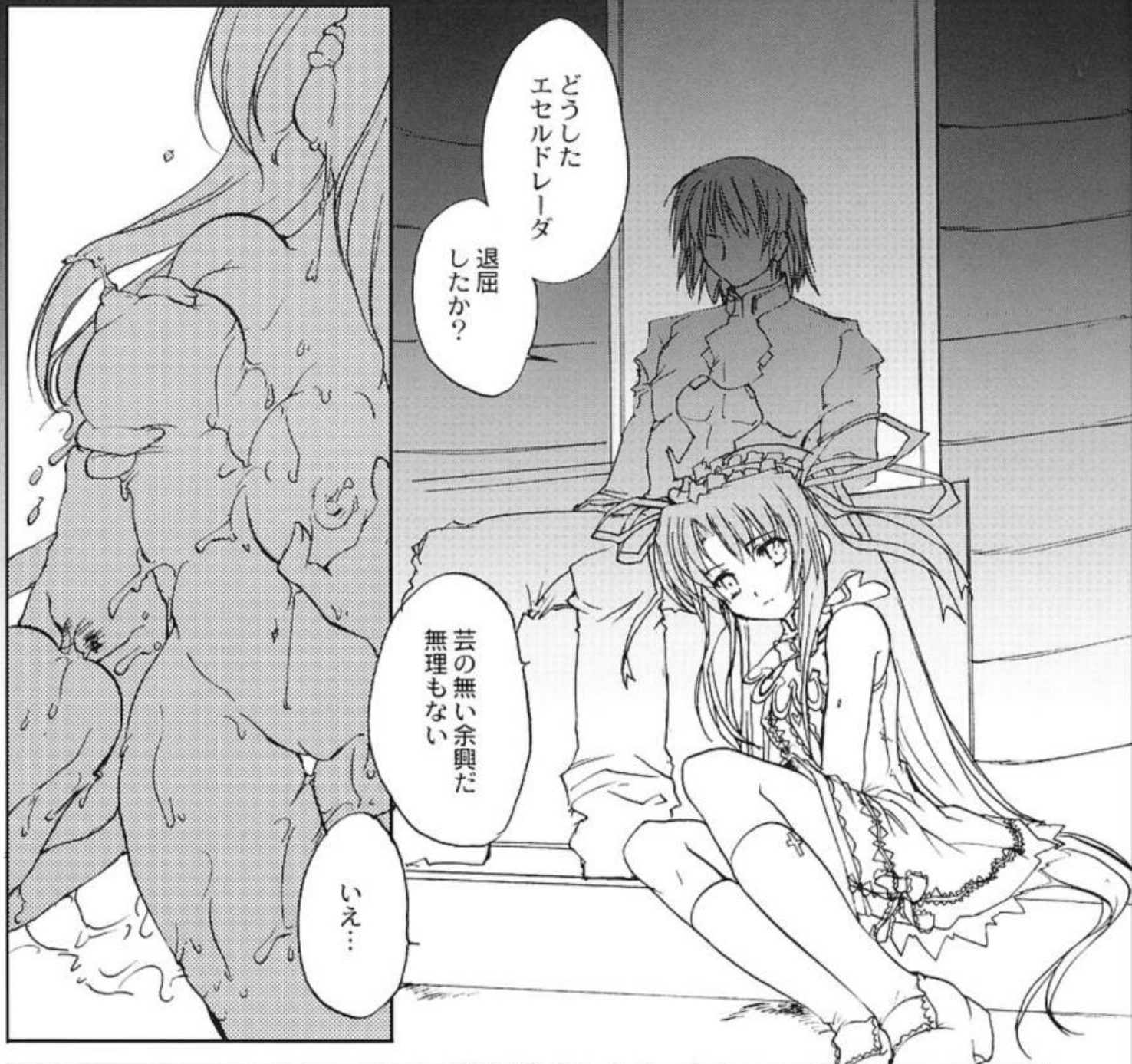


足りない

血と DEUS MACHINA
DEMONBARE 鋼鉄

Blood
and
Steel



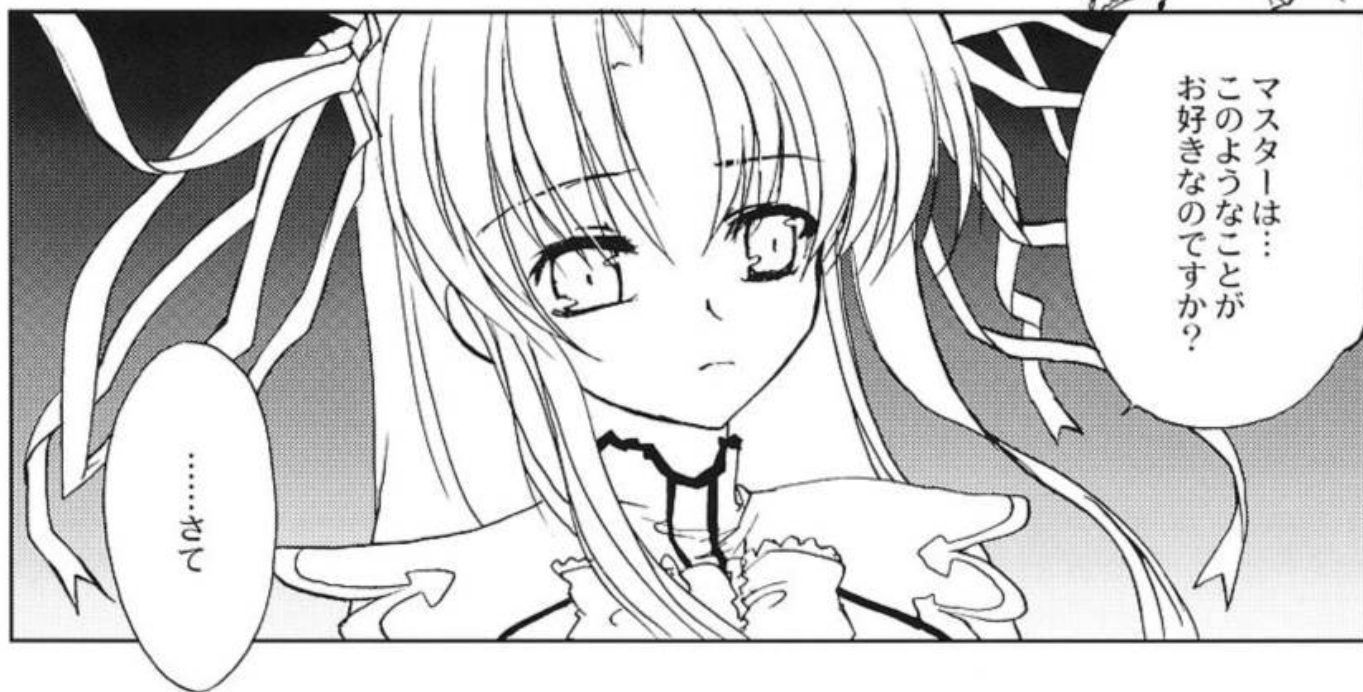


どうした
エセルドレーダ

退屈
したか？

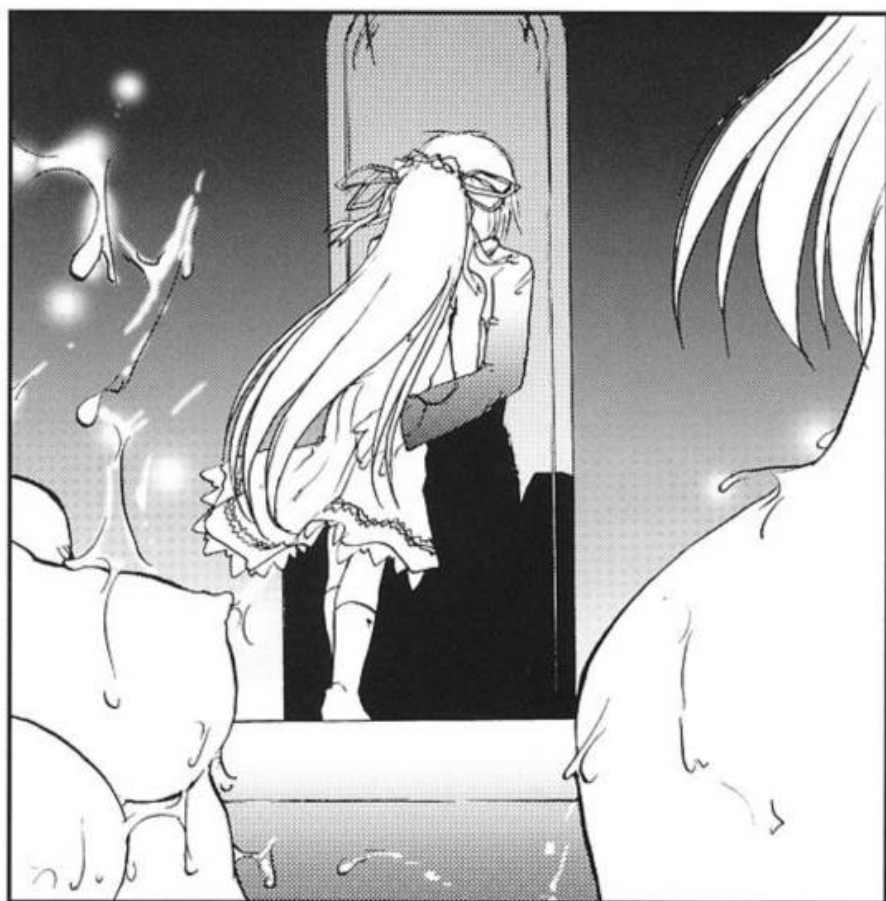
芸の無い余興だ
無理もない

いえ…



マスターは…
このようなことが
好きなのですか？

……えへ

















マスター……

いかが
いたしましょう

お前の雌の臭いにな
てられたな

ザッ……

ザッ……

そうだな

そのまま
広げて見せろ

!?

余を愉しませろ
エセルドレーダ

……

ミイェス
マイマスター

全ては聖なる
マスターの為に

しず

私こそ
マスターの銃

マスターの
為だけの銃



マスターの
敵を屠り

マスターの
欲望を満たす



それが私の命



それが私の価値

でも

マスターの眼は
私を見ない



ヒロインは貴公だ
アル・アジフ



マスターが
見るものは…

見るものは





よくも
我が主をッ……!

邪神の
下僕ども……ッ

くっ

ッ

ッ

ッ



汝等を
滅ぼす!

汝らを
妾は
許さぬ

必ずや
次なる
主と共に



『役不足だ』



汝
魔術師か？

名を何と言う
人間！

妾は『アル・
アジフ』！

魔に組する
ものを討ち
滅ぼす

世界最強の
魔道書なり！

ふふ…。

なんと言う
幸運だろうね？
かの『死霊秘法』に
選ばれるなんて？

でも…
それは
君の本じゃ
ないのさ

そして
アル・アジフ…
それは君の銃じゃない

…久しいな

無貌の神

そうか
また貴公の
差し金か

ふふ…
もう何度目の逢瀬かな
僕の愛しい王子。

ああ
僕のことにはナイアとも
ナイ神父とも
好きに呼んでくれ

まだ決めて
いないんだ
僕の役柄をね

王子？
貴公の王子は
余ではなからう

そう邪険に
するなよ
つれないなあ？

王子は一人とは
限らないさ…
僕たちは待って
いるんじゃないか。

君と、君に並ぶ
たった一人の
運命のヒーローを

二人の王子と
二つの銃
役者が揃うのは
いつだろう？

君も
見てみたいだろう？
それはどんなに
禍々しい
世界だろうね？

どんなに美しく…
どんなに歪んだ世界
だろうね？

ふふ…
姫が手に取る銃…
選ぶ王子は
今度は少々
変り種のようにだよ？





名を何という
人間

妾は『アル・
アジフ』！

九郎！

大十字
九郎だ！

27



そうか

汝と
契約する
！！

ならば
妾は

汝こそ妾の銃
汝なくしては妾は無力
汝こそ最良の友

だが銃は数多ある

…汝もなのか…？

汝も我が制す
銃の一つに過ぎぬのか？

…九郎



28



文句あるなら
返品してくるぞ
古本娘。

怒鳴るでない
コーヒーに
埃が入る

フーかお前
そのカップ
どこで手に
入れたよ?

…しかし汝も
可笑しな男だ

無視
かよ!

魔道書のために
ミルクと砂糖を
買ってくる魔術師など
終ぞ見たことがない

俺だって
コーヒーに
ミルク砂糖を
入れる魔道書は
初めて見た

………
妾は
魔道書だぞ

知ってるよ
魔道書がこんな
憎たらしいもん
とは知らな
かったけどな

まあ妾のように
愛らしい姿を
しておれば
人の道を踏み
外すのも無理
ないことだが

誰が
人の道を
踏み外すか
ボケ

………
全く…

すぐ外見に
騙されおって
…人間は。

アギカス。



ごきげんよう
アル・アジフ

ナコト写本っ！

いいえ
『初めまして』と
言うべきなのかしら

今生で貴女と
言葉を交わすのは
初めてなものね

大十字九郎と
言ったかしら

：『アレ』が
貴女の新しい主？

おお
怖い

何もしては
いないわ？

汝、我が主に
何をした！

ただあの女が
あそこまで
気をかける

貴女の主に
興味が向いた
だけ

『あの女』？ 誰の事だ

汝 何を
知っている！





そのとき
貴女たちは
知るわ絶望を

待っているわ

宇宙の中心に立つ
貴女と
大十字九郎を。





彼奴の言う通り
妾は傲慢なの
かも知れぬな

確かに
お前は
ゴーン
だ



妾は…九郎を
消耗品としか
思っておらぬ
かも知れぬ

これまでの
主たちのように…

何故なら
それが『契約』
であるから

だが…
何故その事が
今 妾を此れほどに
苛むのだ…?

妾にとって
九郎は一体…



一体
何なんだ?

いいいいいい
いつからそこに
いたああああ?

さっきから

妾の独り言を
聞いていたな?
立ち聞きして
いたのだな!

お前が一人で
ぶつぶつ言っ
てたんだろが



珍しくしあらしく
してると思ったら
いきなり逆ギレ
ー！

この痴れ者
がああーっ！

我らは敵には征服者

我が命には救世主

全ては血と鋼鉄の輪の中

二人の少女は銃を手にする



『血と鋼鉄』

発行元 ガラストコンクリート

発行日 2003年8月17日

印刷 BRO`S

Web site ■ <http://vt.sakura.ne.jp/riuku/>

E-mail ■ riuku@vt.sakura.ne.jp

貴方のご意見ご感想、魔道書など
お待ちしております

This is my rifle.
It is my life.

DEUS MACHINA DEMONBANE
FanBook
From GLASSED_CONCRETE

glasped-concrete
ガラスコンクリート



RIUKU_NARITA